

豊門公園等殖産興業遺産活用 官民連携プロジェクト

【事業発案ステージ】

静岡県駿東郡小山町
企画総務部企画政策課

R5.9

1 施設名称及び延床面積等

・豊門公園(豊門会館383.96㎡、西洋館155.25㎡、トイレ棟、駐車場40台、園地)、森村橋、富士紡績小山工場長旧自宅(133.49㎡)

豊門公園 案内図

噴水泉
(国登録有形文化財)
 建設年: 昭和5年
 半径5メートルの半円形平面をしたコンクリート造りの水輪の円盤を、西洋館と向かい合わせ、直線部分両端には、ソルタール噴出し仕上げで石畳面に白磁を入れた円柱を配する。樹林帯と西洋館の各正面特等緑の緑化帯に位置し、豊門公園空間構成上の景となっている。

西洋館
(国登録有形文化財)
西洋館 (旧豊門青年学校)
 建設年: 昭和5年 外観登録: 令和2年
 本造2階建て、スレート葺で、角柱造。外装は下段縁飾と、欄干付き縦長窓を両側に配す。正面中央に設けられた扉を軸とし、2階西側にベランダを設けて壁を後退させ、小窓を配して外観を引き締める。変化に富んだ洋風洋館建築である。

豊門会館
(国登録有形文化財)
和館
 本造2階建て、瓦葺。入母屋造2階部分の西側に、平屋を南北に構える。入母屋梁を軸とし、正面に洪沢栄一が、書きおろした「豊門会館」の額が掲げられている。

洋館
(国登録有形文化財)
 和館両側に接続して位置する。平屋建て、スレート葺、壁紙造。外装はモルタル塗りで、扉戸付き縦長窓を正面に付け、窓の上下に木板を帯状に配して外観を引き締めている。大正期以降、都市部で流行した洋館を和館に付随させる住宅形式の初期の例である。

正門
(国登録有形文化財)
 建設年: 大正14年
 漆柱付きの高さ1.7メートルのコンクリート造りの柱を左右に配し、その外側に曲線平面の軸梁を付ける。柱石に江戸切り仕上げの大形の花崗岩を用い、モルタル造り仕上げの柱身には、石積風の白磁を帯状に入れる。重厚な外観で、園地の入り口を飾る。

和田君遺徳碑
(国登録有形文化財)
 建設年: 大正14年
 高さ3メートルの花崗岩の石造物。角を丸めた1.5メートル四方の台座に、碑文を彫刻した円柱を載せ、さらにその上側に宝珠を頂く三翼の扁形を載せる。書匠は朝倉文夫、撰文は漢字者の桂五十郎、書は歴史学者の森多貞也、篆額は洪沢栄一。

和田坂
 大正15年(1926)豊門グラウンド(現在の小山中学校グラウンド)とともに建設。富士紡績社長森村の私邸を兼ね、前が工場長の職舎。森村が和田坂と命名した。

豊門会館 (旧・和田豊治邸)

建設年: 明治39年 修築: 大正14年 改装: 平成31年

和館
(国登録有形文化財)
 本造2階建て、瓦葺。入母屋造2階部分の西側に、平屋を南北に構える。入母屋梁を軸とし、正面に洪沢栄一が、書きおろした「豊門会館」の額が掲げられている。

洋館
(国登録有形文化財)
 和館両側に接続して位置する。平屋建て、スレート葺、壁紙造。外装はモルタル塗りで、扉戸付き縦長窓を正面に付け、窓の上下に木板を帯状に配して外観を引き締めている。大正期以降、都市部で流行した洋館を和館に付随させる住宅形式の初期の例である。

HOMON HALL HISTORY

- 1906 Toyotomo Wada, the first president of Fuji Spinning Co.Ltd. constructed his private residence in Tokyo.
- 1924 Toyotomo Wada passed away.
- 1925 Wada's residence was moved to the current place in Oyama town by will. This residence has been called as HomonKaikan (Homon Hall) since this time.
- 2005 It was registered as a registered tangible cultural property in Japan

2階和室

2階和室

1階洋間

1階洋間

↓ 至 森村橋、富士紡績小山工場長旧自宅

小山町歴
制作品名: 豊門会館2022
サイズ: 210×396(98+100+98)mm



館内図



- アクセス / ●住所: 静岡県駿東郡小山町藤曲144-8
- 駿河小山駅から1.4km
- 東名高速道路 足柄スマートICから10分

ギャラリー

「豊門会館」 渋沢 栄一 筆 (1840~1931)

資本主義の父と言われる渋沢和和は船屋の仲にあった。渋沢の孫である敬三が結婚する際には、和和が仲人を務めた。

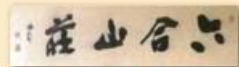
佐久間 象山 筆 (1811~1864)

幕末の兵学者、朱子学者、思想家。門下に勝海舟や豊田松陰らがいる。軸は勝海舟から富田松陰に渡ったものと考えられる。



「六合山荘」 勝 海舟 筆 (1823~1899)

富士藩の初代会長の富田松陰之助が、小山の地に買った住居の称号。富田は勝海舟の門下で、俊英と謳われた高弟であった。



豊門公園内 豊門会館
 ■休館日: 火、水曜日、年末年始 (祝祭日の場合は変更し、当館休館します)
 ■開館時間: 午前10時から午後4時まで
 ■入館料: 300円 (お祝いごとは別) 西洋館 TEL. 0550-70-6811

富士紡績の歴史とともに佇む
豊門会館
国登録有形文化財 小山町

豊門会館の歴史

豊門公園は、ここ小山町の近代化の礎を築いた富士紡績が優れた景勝の地を選び、従業員及び地域住民に修養・教育・保健・慰安の場を提供することを目的に造られた。大正14年(1925)東京向島にあった初代社長の和田豊治の邸宅を移築し、町や町民協力のもと会館、宿舍及び庭園の築造、整備したものが始まりである。そして、翌年の大正15年5月16日に盛大な開会式が執り行われた。
 「豊門」という名称は、初代社長の和田 豊治の「豊」と、富士紡の三門と称せられた森村 市左衛門・日比谷 平左衛門・濱口 吉右衛門の三銘の「門」として名付けられた。
 平成16年度(2004)小山町はこの公園を富士紡績から購入し、翌17年には正門、噴水、和田君遺孀碑、豊門会館(和館・洋館)、西洋館が、国の登録有形文化財として登録された。平成29年度(2017)から31年度にかけ、公園の修築、豊門会館及び西洋館を改修した。



おだ とよぢ
和田 豊治 Wada Toyochi
 文久元年(1861)12月19日~大正13年(1924)3月4日(62歳没)
 明治34年(1901)に富士紡の専務取締役になり、家族で小山に移る。当時、静岡の他郷にあった富士紡を再建させた。大正元年(1912)には、豊田村と六合村の合併に際し富士紡100株を贈呈し、豊田小山町の繁栄に尽力した。また、創立に携わった会社は数社を継承し、大正11年に続く大正時代の「財界界首」として君臨した。



もりむら いちざえもん
森村 市左衛門 Morimura Ichizaemon
 天保10年(1839)12月2日~大正8年(1919)9月1日(79歳没)
 森村グループ(ブリックタ、TOTO、日本ガイシ、日本特殊陶業)の創設者。富士紡設立時の出資者である森村は(森村一家の財産などはほぼ専断ではない、富士紡がこのまま継承するようことがあれば、森村を役員に役員した多数の株主に申し渡さない。)と、両面に奔走した。



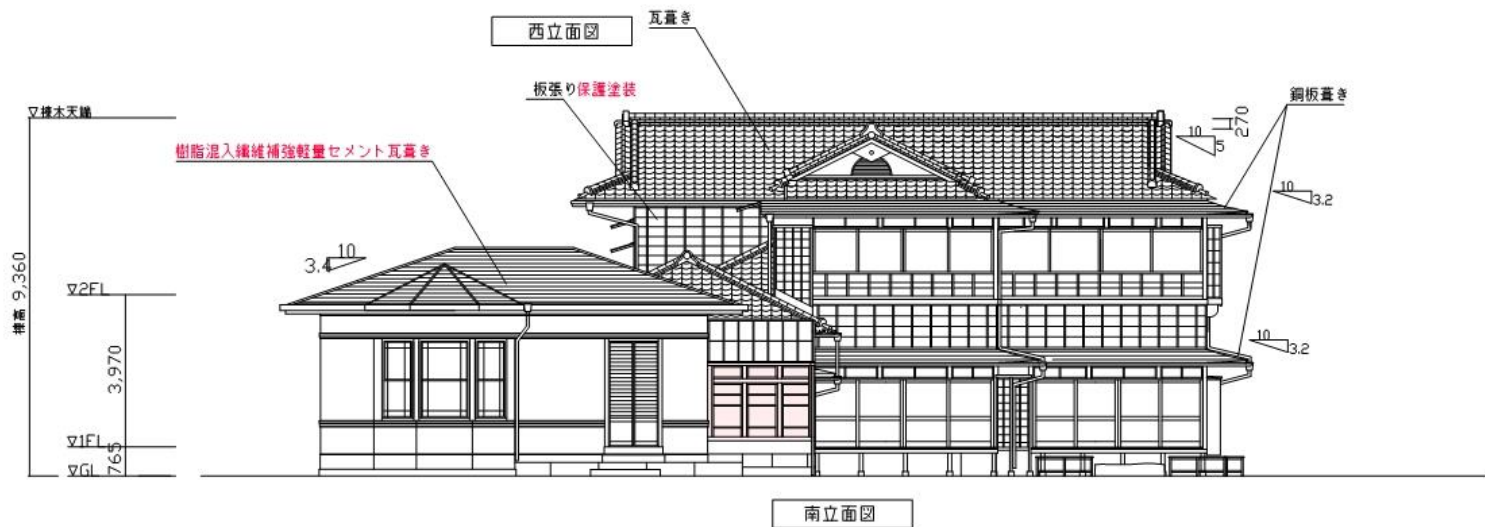
ひびや へいざえもん
日比谷 平左衛門 Hibiya Heizaemon
 弘化5年(1848)3月25日~大正10年(1921)1月9日(73歳没)
 明治29年(1896)に東京瓦斯納税を設立し専務取締役として経営にあたった。その中に、森村から富士紡の再建を依頼され、明治33年7月に専断に取得するも専断は許されなかった。和田豊治を重用した他、富士紡と小松木川製糖、東京瓦斯納税の合併に尽力し、日本紡績界の巨人と謳われた。



はまぐち きちえもん
濱口 吉右衛門 Hamaguchi Kichisemon
 文久2年(1862)6月13日~大正2年(1913)12月11日(51歳没)
 家業である醤油醸造(光興、徳村事業を営む)のち、専務取締役を3期(1890~1900)、その後、取締役監事本庶務課長を歴任し重鎮とされる。静岡紡績設立の後、富士紡設立時に監査役に就任し、明治34年(1901)には富士紡の会長職に就き翌年の任に就いた。

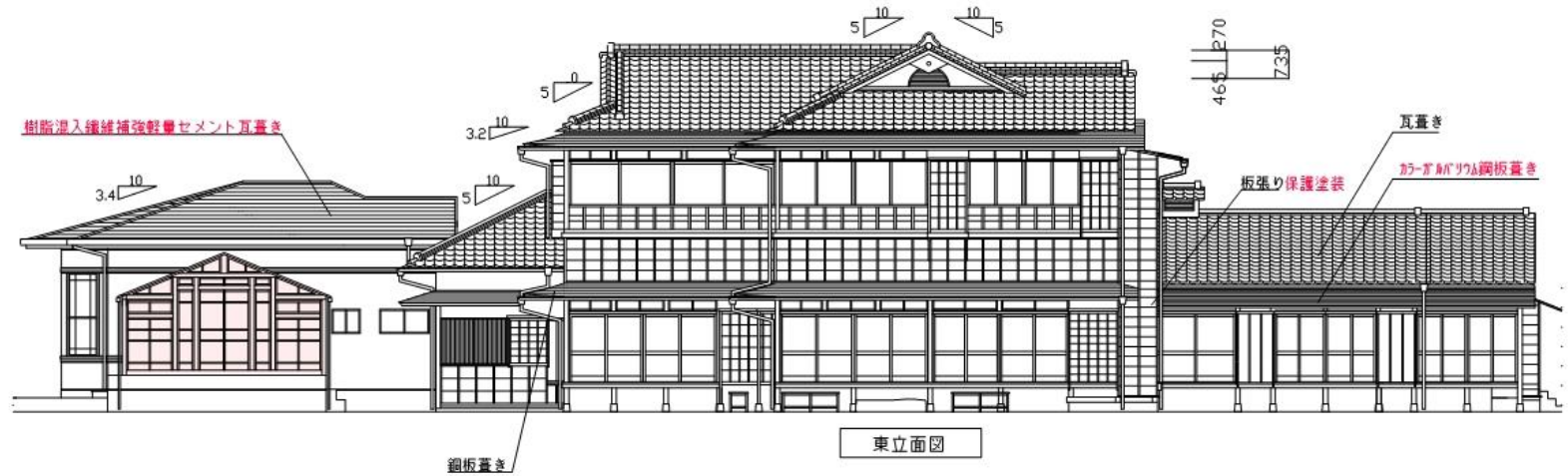
2 主な建物構成

①豊門会館(383.96㎡)



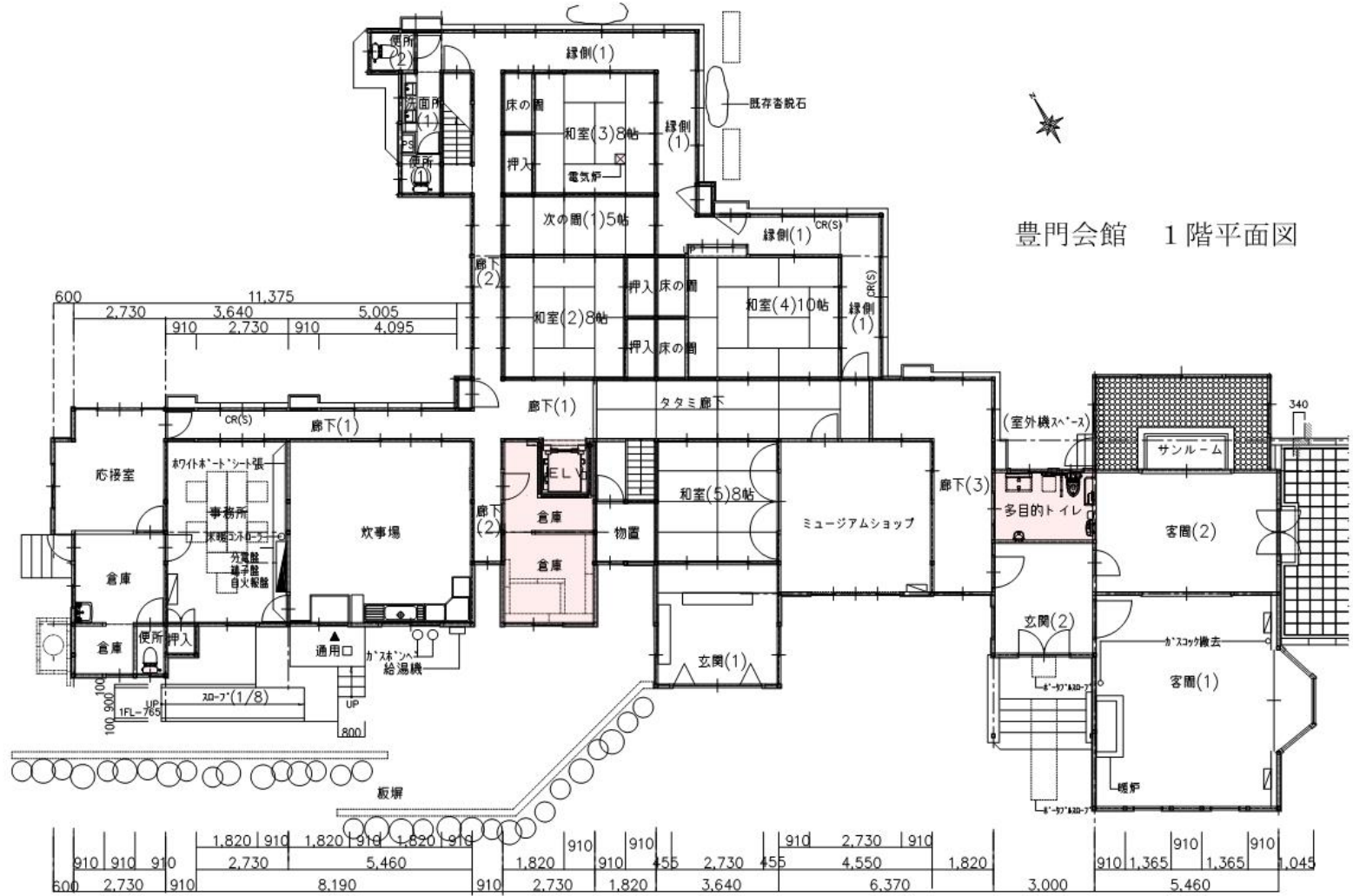
2 主な建物構成

①豊門会館(383.96㎡)



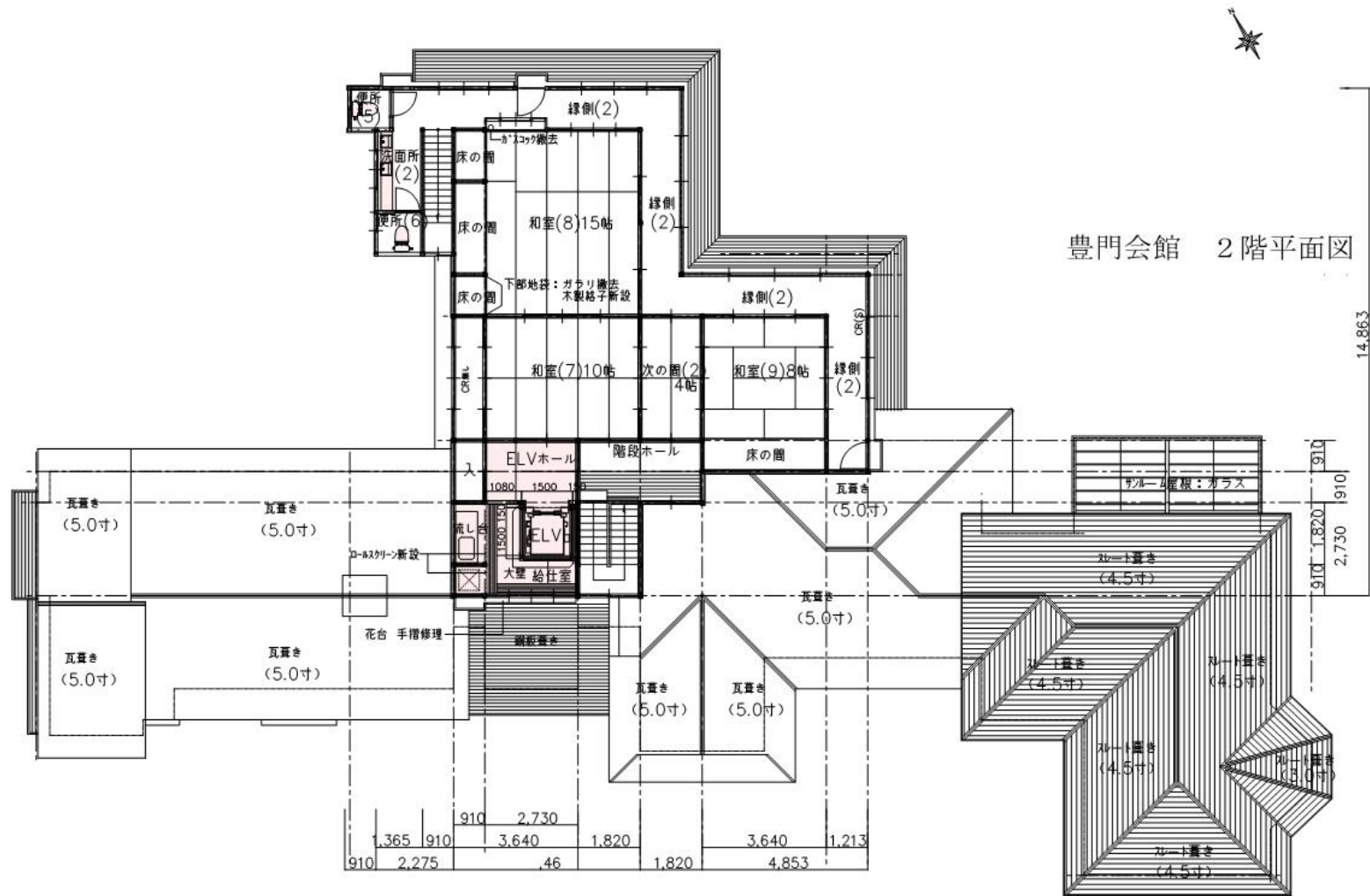
2 主な建物構成

①豊門会館(383.96㎡)



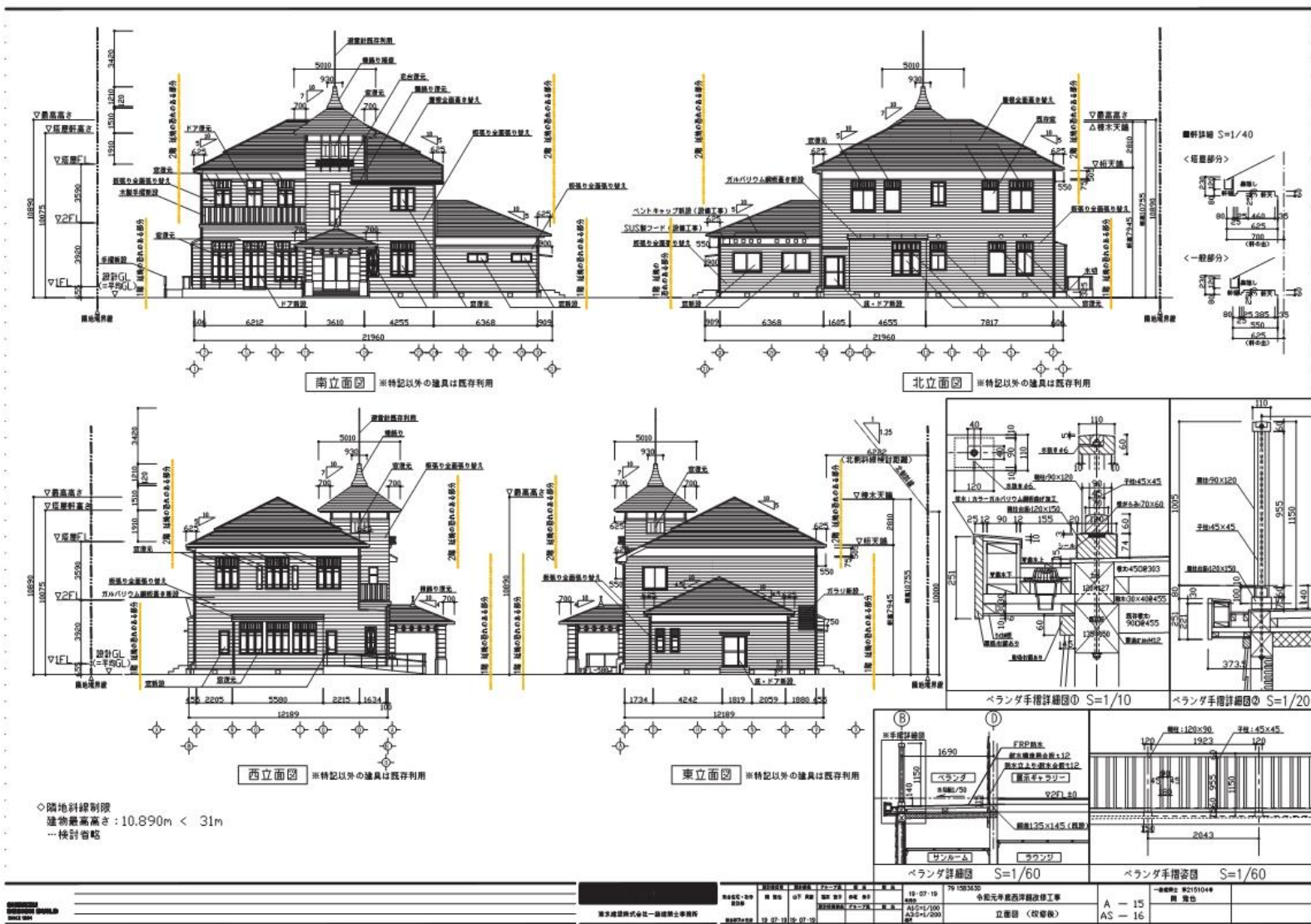
2 主な建物構成

①豊門会館(383.96㎡)



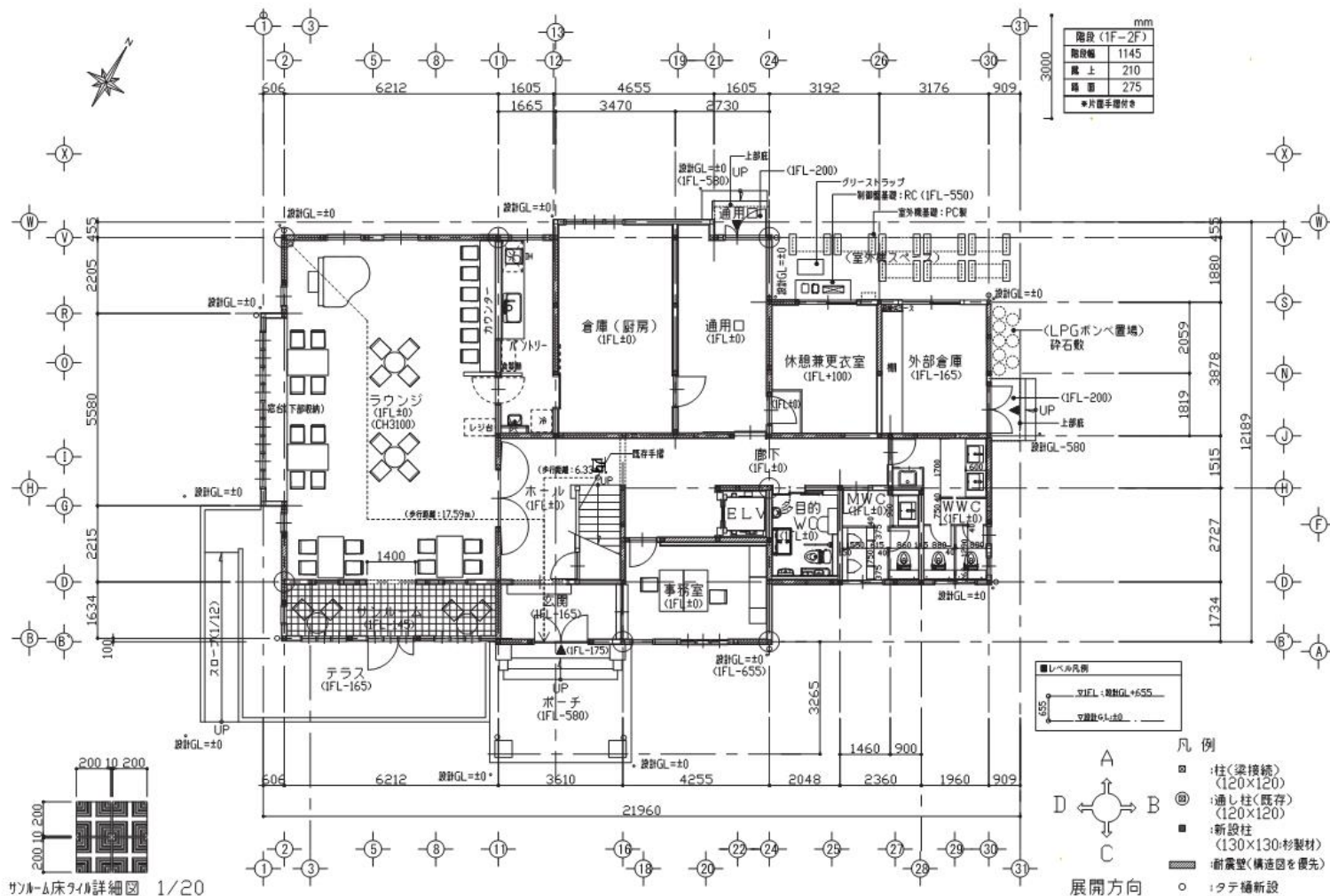
2 主な建物構成

②西洋館(155.25㎡)



2 主な建物構成

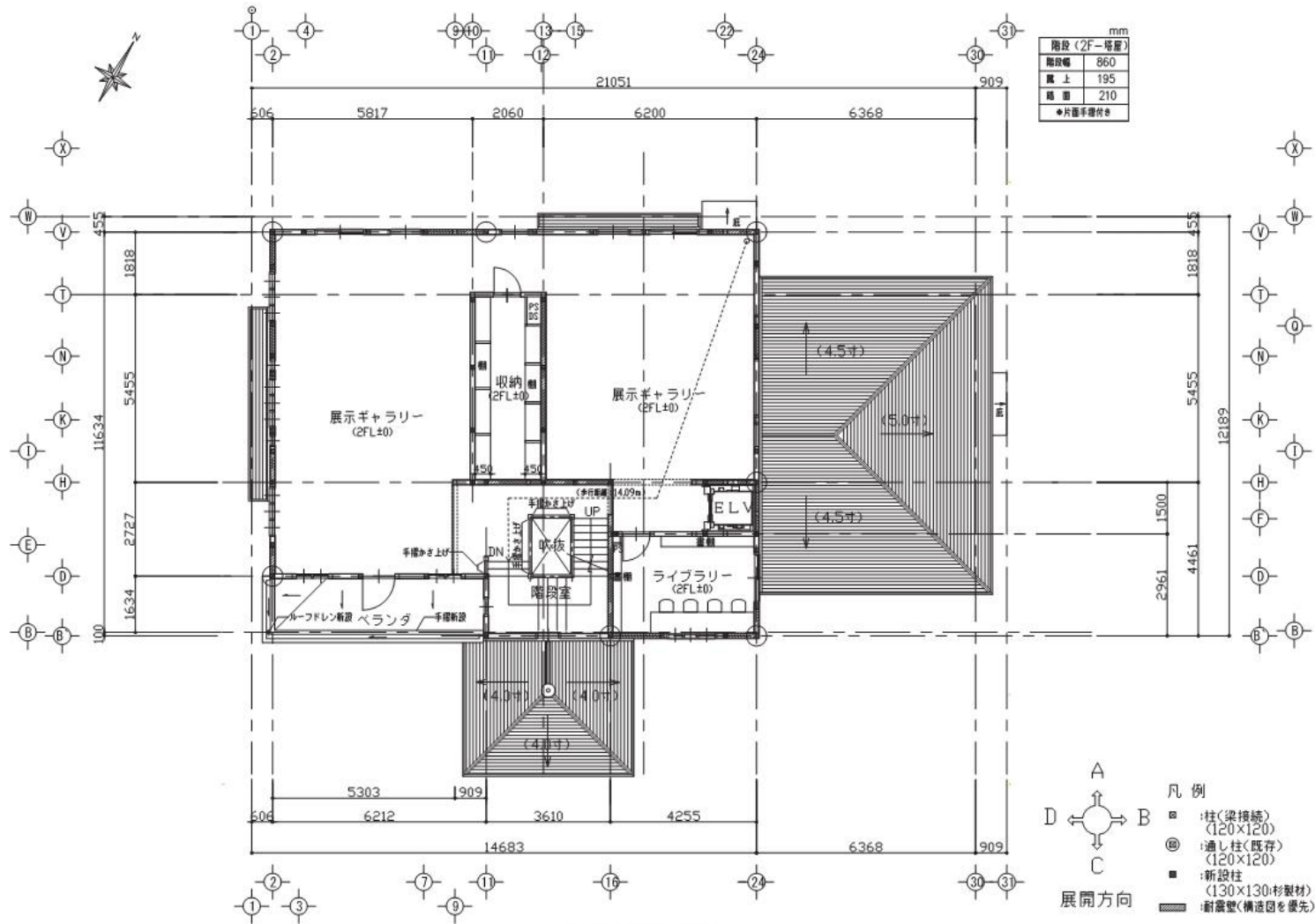
②西洋館(155.25㎡)



西洋館 1階平面図

2 主な建物構成

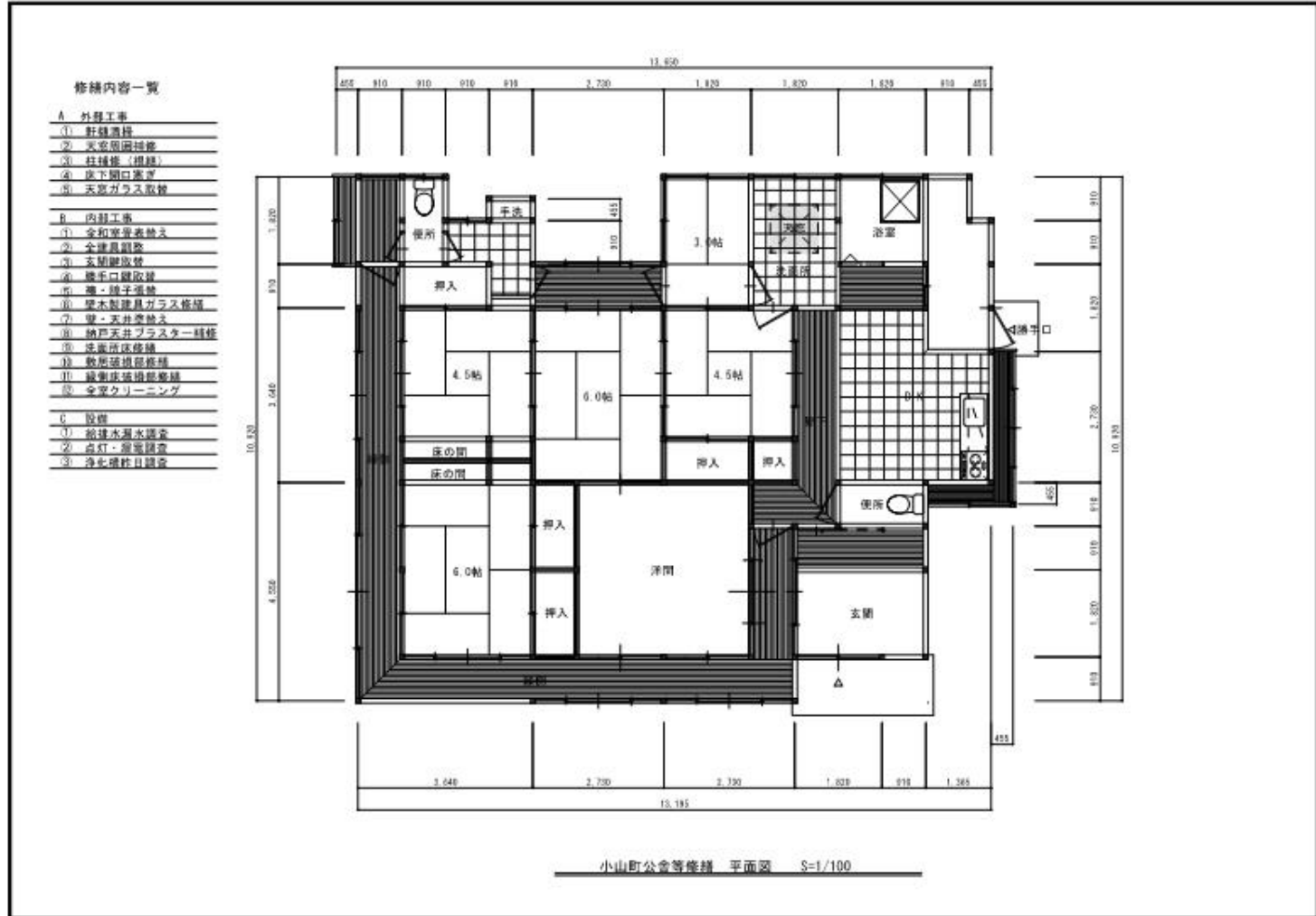
②西洋館(155.25㎡)



西洋館 2階平面図

2 主な建物構成

③富士紡績小山工場長旧自宅(133.49㎡)



3 運営状況等

①豊門公園

- ・町教育委員会生涯学習課所管(令和4年度～現在)、直営施設(過去指定管理なし)
- ・豊門会館入館料の徴収や館内ガイドは現地の会計年度任用職員対応、施設使用許可は生涯学習課受付
- ・開園時間は終日
- ・豊門会館及び西洋館は10時～16時(火・水定休)開館

(1)豊門会館

明治39年に東京向島に建築された和田豊治宅を大正14年に現在地へ移築。和館と洋館が一体化した建造物。木造2階建て、瓦葺、入母屋破風。平成17年に国登録有形文化財に認定された。

平成17年以降、月1回の一般公開を行っていたが、平成22年以降、耐震性が脆弱であることから一般公開を中止。施設の利用はフィルムコミッションのロケに限られ、施設の有する文化財の価値の周知が不十分な状態が続いた。

そのため、施設の修復と利用者の増加を目的に平成29年度から令和2年度にかけて改修工事を実施した。その後、令和4年3月から入館料として1人300円を徴収し、一般公開を行っている。

令和4年度以降は、アート作品の展示や茶会、文化財の解説などのイベントを行い、集客に努めているが、イベント以外でのリピーターは非常に少ない。これは入館料を徴収することに起因していると考えている。

3 運営状況等

(2)西洋館

昭和5年に建設。豊門青年学校として、富士紡績の若手幹部職員の教育の場として建設。木造2階建て(塔部は3階)、スレート葺き、寄棟造。平成17年に国登録有形文化財に認定された。

平成17年以降、豊門会館と同様に月1回の一般公開を行っていたが、平成22年以降、耐震性が脆弱であることから一般公開を中止。施設の利用はフィルムコミッションに限られ、施設の有する文化財の価値の周知が不十分な状態が続いた。

そのため、施設の修復と利用者の増加を目的に平成29年度から令和2年度にかけて改修工事を実施した。その後、令和4年3月から無料で一般公開を行っている。

現在、1階部分は、豊門カフェとして町内業者による営業(使用許可)がなされ、2階部分は、資料館及び収蔵庫として活用されている。

令和4年度以降は、アート作品の展示やコンサート、文化財の解説などのイベントを行い、集客に努めている。豊門会館はリピーターが少ないものの、西洋館はカフェに通う客が多いことから、日々多くのリピーターで賑わっている。また、カフェにストリートピアノを常設しているため、ピアノ目的の来館者も多くみられる。

②森村橋…直営、地域団体の屋外イベント等

③富士紡績小山工場長旧自宅…直営、公舎として利用実績あり

3 運営状況等

令和4年度豊門公園決算額及び令和5年度当初予算額

科目	名称	R4予算額	R4決算額	R5予算額
報酬	会計年度任用職員報酬	6,295,000	6,062,606	6,002,000
	会計年度任用職員（パート）期末手当	1,343,000	990,970	1,201,000
	会計年度任用職員（パート）時間外手当	115,000	23,017	115,000
共済費	会計年度任用職員共済組合負担金	192,000	186,276	374,000
旅費	会計年度任用職員費用弁償	404,000	403,200	404,000
需用費	消耗品費	146,000	249,988	199,000
	燃料費	36,000	26,835	36,000
	印刷製本費	0	139,700	52,000
	光熱水費	2,610,000	1,826,756	2,621,000
	修繕料	765,000	1,008,800	605,000
役務費	通信運搬費	17,200	182,632	
	手数料	992,000	449,719	904,000
委託料	施設維持管理	1,359,000	1,323,080	1,966,000
使用料及び貸借料	AED借上料	60,000	56,760	57,000
工事請負費	駐車場掲示看板設置工事			700,000
原材料費	公園補修用	15,000	11,022	15,000
合計		14,349,200	12,941,361	15,251,000

3 運営状況等

R4豊門公園入館者数集計

2023/3/31 時点

月	一般入館者						使用許可申請		合計 人数	備考
	西洋館			豊門会館			件数	人数		
開館日数	入館者数	平均	開館日数	入館者数	平均					
4月	21	467	22	23	208	9	3	88	763	BSよしもと番組放映
5月	20	490	25	22	186	8	4	68	744	OTK放送 富士山GoGoFM放送
6月	21	449	21	21	104	5	3	61	614	
7月	23	305	13	23	48	2	6	112	465	
8月	22	672	31	21	81	4	8	231	984	アートビレッジ開催 8/20水煎席体験、8/20-28水樹ノ展
9月	22	391	18	22	81	4	7	160	632	
10月	15	306	20	16	21	1	15	1,913	2,240	ARTWALK開催(10/22-11/6) ※11月分も10月分に計上
11月	13	302	23	15	73	5	7	151	526	ARTWALK開催 静岡朝日テレビ番組放映
12月	18	291	16	17	47	3	8	1,510	1,848	We are OYAMA イベント
1月	19	274	14	19	41	2	3	60	375	静岡第一テレビ放映
2月	20	336	17	17	43	3	5	140	519	
3月	22	470	21	21	79	4	8	202	751	
合計	236	4,753	20	237	1,012	4	77	4,696	10,461	

豊門会館入館料	¥300	×	1,012	=	¥303,600
都市公園使用料	69件				¥586,176